

令和6年度事業の決算を認定

一般会計の決算額

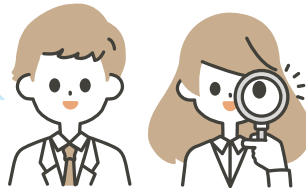
歳入 367億9,761万2千円
(昨年度比 7億7,399万4千円 **増**)

歳出 350億4,353万9千円
(昨年度比 10億1,744万6千円 **増**)

**決算特別委員会が
昨年度の決算審査
を実施**

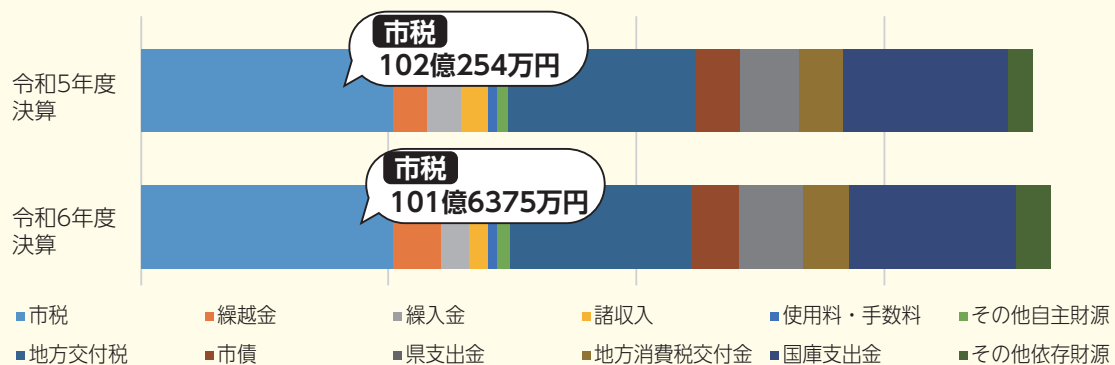
議会は決算特別委員会を設置し、9月8日～10日に審査を行いました。この委員会は、令和6年度の予算が目的に沿って使われていたか審査し、改善点を市に伝え、今後の事業執行につなげてもらうための重要な役割を担っています。

歳入では、市税が前年度に比べ約3,900万円の減となっています。これは、固定資産税が増加しているものの、定額減税により市民税が減少したためです。

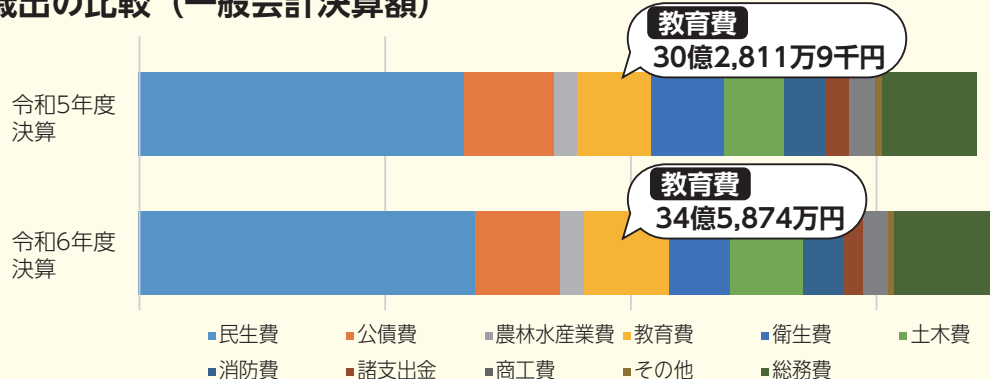


歳出では教育費が4億円以上増加しました。主な事業は、小学校の校舎の改修、中学校の体育館の空調整備工事などです。

歳入の比較（一般会計決算額）



歳出の比較（一般会計決算額）



歳入・歳出額の内訳の詳細や、特別会計などの決算額、財政指標などは広報かさま10月号をご覧ください。



令和6年度決算の注目事業

農業費

栗ブランド推進事業
約1,724万円



笠間の栗のブランド化及び知名度向上を推進するPR事業等を実施しました。

観光費

笠間工芸の丘
整備事業
約3億276万円



センタープラザ及びクラフトホールの改修工事を実施しました。

教育費

屋内運動場空調
整備事業
約1億835万円



友部中学校及び岩間中学校の体育館空調整備工事を実施しました。



ムトトの森

問 子育て拠点施設整備の効果は。(こども政策課)
答 平日、土日ともには常時利用があり、小さなお子さんをもつ保護者と子どもがくつろげる場所として一定の成果があると考えている。

問 マイナンバーカードの交付率は。(市民課)
答 令和7年3月末時点の交付件数は6万5384件、交付率が89・3%。

決算特別委員会での質疑と答弁を紹介します



問 友部駅岩間駅駐車場の利用状況は。(都市計画課)
答 友部駅駐車場の6年度の利用台数は6万6536台、うち使用料がかかった件数は9017台、収入額は787万1400円。岩間駅駐車場は、利用台数9283台、うち使用料がかかった件数は1514台、収入額は63万2800円。また、現在友部駅南口の駐車場は、30分無料のところを60分まで延長の実証実験を行っている。

問 学校体育館のエアコン設置の進捗状況は。(学務課)
答 現在は友部中学校と岩間中学校で整備工事を進めている。暑さ対策は喫緊の課題であり、国の補助金などの動向を注視して整備を計画的に進めていきたいと考えている。

3日間にわたり執行部との活発な質疑応答が交わされ、最終日に討論、採決を行い、全ての会計を原案のとおり認定すべきものとなりました。

そして、定例会最終日(9月19日)の本会議で、委員長が審査結果を報告し、採決の結果、

全ての決算を **認定** しました。

【決算特別委員会 委員】

委員長：内桶 克之 / 副委員長：長谷川 愛子
委員：酒井 正輝・河原井 信之・川村 和夫
安見 貴志・益子 康子・林田 美代子
村上 寿之

問 かさまコンシェルジュとは。(観光課)
答 観光協会に所属し、年間を通してイベント等で観光客の観光案内などを行っている。現在の人数は21名。

問 消防団車両更新の状況は。(消防本部)
答 古いもので経過年数28年のものがある。年数だけでなく車両の状況を踏まえながら更新を進めている。



問 マンホール蓋の更新状況は。(下水道課)
答 車道のマンホールの蓋は、耐用年数が約15年で、耐用年数に合わせて毎年30から50枚を計画的に交換している。